

種名	ゴ イ サ ギ Nycticorax nycticorax													
														
分類	コウノトリ目 サギ科													
特徴	星明かりの空をふわっと飛ぶ、夜行性のサギ類。ユーラシア大陸、アフリカ、南北米大陸の温帯から熱帯で広く繁殖し、日本では本州から九州までの各地で数多く繁殖する。北方のものは冬期は暖地に移動するほか、西南日本のものの一部はフィリピン方面へ渡る、狩猟鳥。													
生活	夜行性のサギ類で、昼間は竹藪や茂った林などのねぐらで休息する。夕方、薄暗くなった頃飛び立ち、池や沼、養魚場などで魚やカエルなどを捕らえる。庭の小さな池などに毎晩飛来することがある。夜通しで行動し、明け方にはねぐらへ戻る。若鳥などは時折、昼間行動することもある。繁殖期にはよく茂った雑木林、マツ林、竹林などで集団繁殖し、コサギなど他のサギ類と混合コロニーを作る場合が多い。													
声	繁殖地では「グァーグァー」とやかましく鳴きかわす。夕暮れや夜明け頃に採餌場へ向かって飛んでいく時には、「ゴァーゴァー」と間隔をおいて鳴くのが普通である。四季を通じて鳴き、夜間にカラスのような声を出す、というので「ヨガラス」という別名もある。													
見分け方	成鳥では、頭上から背は黒く、白い冠羽があり、翼と尾は灰色。幼鳥と若鳥は、全身白っぽい斑点のある褐色で、ホシオイと呼ばれる。繁殖期の一時期、脚全体が赤くなる。													
時期：寒地 ：暖地	(月)	—	—	—	4	5	6	7	8	9	10	—	—	
	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長 (L) 57cm 翼開長 (W) 108cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														